

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成21年11月12日(2009.11.12)

【公表番号】特表2002-539569(P2002-539569A)

【公表日】平成14年11月19日(2002.11.19)

【出願番号】特願2000-605973(P2000-605973)

【国際特許分類】

G 0 7 F 17/24 (2006.01)

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

G 0 7 B 15/00 (2006.01)

G 0 8 G 1/14 (2006.01)

【 F I 】

G 0 7 F 17/24

G 0 6 F 17/60 1 3 4

G 0 7 B 15/00 N

G 0 7 B 15/00 R

G 0 8 G 1/14 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年9月15日(2009.9.15)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【書類名】明細書

【発明の名称】車両の駐車管理方法

【請求項 1】 駐車サーバ(2)に接続された駐車チケット機(10)を利用して車両の有料駐車を管理する方法において、

- 移動電話網(3)に加入した移動電話(20)を有する利用者が、駐車サーバに、少なくとも、
 - ・ 自分の車両の駐車位置の識別に関する情報、
 - ・ 駐車に関する情報を送信し、
- 駐車サーバ(2)が、駐車チケット機(10)に、少なくとも駐車時間に関する前記情報を送信し、
- 前記駐車チケット機(10)が、駐車許可制御手段(12, 13, 14)に、少なくとも駐車時間に関する情報を提供し、
- 駐車料金が、駐車位置の識別に関する情報および駐車時間に関する情報から計算されて、利用者へ請求がなされることを特徴とする方法。

【請求項 2】 駐車に関する情報は、利用者が定める駐車期間で構成されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】 前記駐車許可制御手段は、車両の内部に配置するように駐車チケット機(10)によって印刷され、駐車時間に関する情報が記載された駐車チケット(11)で構成されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】 駐車サーバ(2)は、駐車チケット機(10)に、駐車車両の識別情報も送信すること、および、駐車チケット機(10)は、前記駐車許可制御手段にも前記駐車車両の識別情報を供給することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】 前記駐車車両の識別情報は、移動電話(20)の識別にもとづいて、駐車サーバ(2)によって供給されることを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】 駐車車両の識別情報は、車両の登録番号または車両に張られた識別番号であることを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】 前記駐車車両の識別情報は、利用者によって、携帯電話（20）で駐車サーバ（2）へ送信されることを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】 駐車車両の識別情報は、車両の登録番号または車両の駐車地点を特徴づける番号（14）であることを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】 駐車時間に関する情報は、利用者が利用したい駐車期間で構成されることを特徴とする請求項 4 ないし 8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 10】 駐車時間に関する情報は、それぞれ車両の駐車位置への到着時および駐車位置からの出発時に駐車サーバ（2）へ送信される駐車開始時刻および駐車終了時刻で構成されることを特徴とする請求項 4 ないし 8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 11】 前記駐車許可制御手段は、駐車チケット機（10）によって提供されるリスト（13）または駐車チケット機（10）からくる情報を受信することのできるポータブルな制御装置で構成されることを特徴とする請求項 9 または 10 に記載の方法。

【請求項 12】 車両の駐車位置の識別に関する情報は、駐車チケット機（10）を特徴づける番号または駐車位置の料率ゾーンを特徴づける番号（14）で構成されることを特徴とする請求項 1 ないし 11 のいずれかに記載の方法。

【請求項 13】 駐車サーバ（2）は、少なくとも、利用者に関する情報、車両の駐車位置に関する情報、および駐車時間に関する情報から計算された電子証明書を携帯電話（20）へおくことを特徴とする請求項 1 ないし 12 のいずれかに記載の方法。

【請求項 14】 駐車料金は、携帯電話網（3）または駐車サーバ（2）の運用者によってプリペイド方式でアカウントからの引き落としで支払われることを特徴とする請求項 1 ないし 13 のいずれかに記載の方法。

【請求項 15】 駐車料金は、駐車サーバ（2）の運用者によってプリペイド方式でアカウントからの引き落としで支払われることを特徴とする請求項 1 ないし 13 のいずれかに記載の方法。

【請求項 16】 前記プリペイド方式の支払いは、プリペイド・カードでアカウントからの引き落としによって行われ、利用者が前記プリペイドカードを購入したときそこに印刷された番号をキー入力することによって、購入金額分が駐車の権利がアカウントに記録されることを特徴とする請求項 15 に記載の方法。

【請求項 17】 駐車料金は、携帯電話（20）に挿入された電子式マネー・カードまたは銀行カードによって支払われることを特徴とする請求項 1 ないし 13 のいずれかに記載の方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

本発明は、駐車サーバに接続された少なくとも一つの駐車チケット機を利用した車両の有料駐車の方法に関する。本発明は、駐車チケット機を備えた駐車場に適用してとくに効果が得られるものである。

【0002】

国際特許出願 WO 96 / 11453 などから、携帯電話網を介して形成された有料駐車管理システムであって、利用者が自分の携帯電話でサーバを呼び出して選ばれた駐車ゾーンを提示することを求め、また登録番号など車両を識別するものまたはさらには個人の識別コードを提供するシステムは、公知である。駐車サーバは、該呼び出しのデータおよび駐車開始時刻を記録しておく。利用者が駐車場から出るときには、あらためてサーバを呼び出して出ることを伝える。サーバは、駐車期間とその駐車ゾーンの現行の駐車料率から、利用者が支払う料金を計算し、直接または携帯電話のオペレーション・センタを介して請求書を作成する。

【0003】

この公知のシステムでは、システムの制御は、監視係員によって行われ、監視係員は、駐車サーバと電話で連絡を取り合って登録番号などで識別された駐車車両がサーバによっ

て正しく記録されていることを確認できる携帯装置を携行している。

【 0 0 0 4 】

この有料駐車管理システムは、多くの利点を有するが、技術の現状との関連で以下に説明するように、いくつかの不便さをとまなうものでもある。

【 0 0 0 5 】

このシステムの利用者によっては、サーバを二度電話で呼び出さなければならない。これは、平均の駐車料と比較してきわめて高い出費となる。駐車場の経営者にとっては、監視係員に特別の装置を装備させなければならないが、駐車サーバを電話で呼び出す必要のある装備であるため、その使用も高い出費となる。さらに、監視の作業は、各車両のよく見える場所に置かれた駐車札に車両を識別するものすなわち登録番号ないしは識別番号が書き込まれているようにしなければならないため、きわめて時間のかかる作業である。

【 0 0 0 6 】

加えて、この公知の有料駐車システムは、たとえば、車両のフロントガラスの後ろに置かれる駐車チケットを発行したりあるいは利用者が駐車チケット機に入力した位置の番号あるいは車両の登録番号などのリストを供給する駐車チケット機式駐車場などのような現存する有料システムとは互換性がない。その結果、情報が失われたりあるいはシステム全体の財務状況あるいは統計を得ようとする場合にはより複雑な論理が必要になったりする。

最後に、利用者が駐車を終了して駐車場から出たことをサーバに知らせるの忘れた場合には、駐車場利用の請求金額が積算され続け、請求書についての係争が起こりうる。

【 0 0 0 7 】

したがって、本発明の目的として解決すべき技術的問題は、駐車サーバに接続された少なくとも一つの駐車チケット機を利用した車両の有料駐車管理システムであって、上に述べたような不便のない有料駐車に携帯電話を適用することのできる方法を提供することである。

【 0 0 0 8 】

本発明によれば、この技術的問題は、

- 携帯電話網に加入した携帯電話を有する利用者が、駐車サーバに、少なくとも、
 - ・ 自分の車両の駐車位置の識別に関する情報、
 - ・ 駐車に関する情報を送信し、
 - 駐車サーバが、駐車チケット機に、少なくとも駐車時間に関する前記情報を駐車チケット機に送信し、
 - ・ 前記駐車チケット機が、駐車許可を制御する手段に、少なくとも駐車時間に関する情報を提供し、
 - ・ 支払われる駐車料金が、駐車位置の識別に関する情報および駐車時間に関する情報から計算されて、利用者への請求書が作成される、
- ことによって解決される。

【 0 0 0 9 】

したがって、本発明にもとづく方法では、駐車チケット機が、制御に必要な駐車時間の情報を保持すること、および、したがって、前記駐車許可制御手段を、駐車サーバとの電話連絡を行う場合より単純で費用の安いものとすることができることが理解されよう。

【 0 0 1 0 】

本発明の第一の実施形態によれば、前記駐車許可制御手段は、駐車チケット機によって印刷されて車両の内部に置かれる駐車時間に関する情報を示す駐車チケットで構成される。したがって、ここでは、駐車チケットを発行するという古典的な駐車チケット機の利用法が採用されている。

【 0 0 1 1 】

本発明の第二の実施形態によれば、前記駐車許可制御手段は、駐車チケット機または駐車チケット機からくる情報を受けることのできる携帯用制御装置によって提供されるリストで構成される。携帯用制御装置を使用する場合には、該装置は、たとえば、赤外線また

は短距離用無線で駐車チケット機の情報を受け取る。この連絡手段は、無料であり、通信のための付加的な費用を生じない。

【 0 0 1 2 】

本発明の対象である方法を実施するある特定の形態にあっては、駐車時間に関する情報は、利用者が定める駐車期間によって構成される。この実施形態では、利用者が駐車サーバを電話で呼び出す必要がなく、国際特許出願 W O 9 6 / 1 1 4 5 3 に記載されたシステムと比較して費用の節減になる。

【 0 0 1 3 】

最後に、本発明にもとづく方法は、駐車チケット機にもとづく新しい支払い手段を提供するものであり、したがって、互換性および統計の観点からは、現存の駐車チケット機式駐車場と互換性を有することに留意されたい。本発明は、例として添付の図面を参照して行う以下の説明によって、その構成および実施の形態がよりよく理解されよう。ただし、本発明が、以下の例に限定されるものではない。

【 0 0 1 4 】

図 1 は、少なくとも一つの駐車チケット機 1 0 を利用した車両の有料駐車方法を示す概略図である。この駐車チケット機 1 0 は、サーバ 2 によって管理される駐車システムの一部を構成し、移動電話網 3 によって該サーバ 2 に接続されている。

【 0 0 1 5 】

図 1 に示す有料駐車方法にあっては、該電話網 3 に加入した移動電話 2 0 をもつ利用者が、駐車チケット機 1 0 の前にきて、自分の電話 2 0 でメッセージ M 1 を作成する。該メッセージは、車両の駐車位置の識別に関する情報、ここでは駐車チケット機 1 0 の番号 7 、および、駐車期間に関する情報、ここでは例えば 1 2 0 分、で構成される。次に、利用者は、電話による支払い 機能に対応する駐車チケット機のキー 1 1 を押す。すると、駐車チケット機 1 0 は、受信待機状態に入り、利用者は、駐車サーバ 2 へメッセージ M 1 を送信する。サーバ 2 は、メッセージ M 1 を受信すると、サーバ 2 によってメッセージ M 1 に含まれる番号 (7) で識別された駐車チケット機 1 0 へ、受信した駐車期間に関する情報、すなわち 1 2 0 分間、および駐車開始時刻 (1 0 : 2 2) からなるメッセージ M 2 を発信する。それで、駐車チケット機 1 0 は、駐車許可制御手段の役割をつとめるチケット 1 2 を印刷することができる。駐車期間および駐車開始時刻を示すチケット 1 2 は、監視係員が視覚的に制御できるように、見えるようにして車両の内部に置かれる。

【 0 0 1 6 】

駐車料金は、駐車位置および駐車期間に関する情報から計算される。駐車位置は、料率を求めるために用いられる。利用者には、移動電話網 2 のオペレーション・センターの会計または駐車サーバ 2 によってその金額がただちに請求される。

【 0 0 1 7 】

たとえば、駐車サーバ 2 の運用者を介してプリペイド口座からの引き落としによる支払い形態も可能である。その場合には、支払いのために、利用者は、例えば 1 0 0 フラン (フランスの通過単位) 分の駐車の特権を確保することのできるプリペイド・カードを購入し、自分の移動電話でサーバを呼び出し、該プリペイド・カードに印刷された番号をキー入力する。すると、1 0 0 F 分が料金の貸方となる。利用者が駐車したいときには、駐車サーバを呼び出す。それによって、カード S I M によって自分の勘定が認識され、利用者が駐車権の残高を知ることができるように残高が画面に表示される。

【 0 0 1 8 】

また、カード S I M を挿入した電子式マネー・カードまたは銀行カードを読み取らせるための二つのスロットのついた移動電話 2 0 を利用して、移動電話 2 0 を介して取引を行うようにすることも可能である。そのような構成では、駐車料金を支払う場合、利用者は、自分の電子式マネー・カードまたは銀行カードを自分の移動電話の読み取り装置の中に挿入し、機密保持された通信路でサーバ 2 と決済を行う。サーバ 2 は、取引をカードの借方として記録し、銀行にその分の支払いを求める。

【 0 0 1 9 】

図 2 に示す本発明の実施形態にあつては、利用者は、駐車位置に到着すると、自分の携帯電話 20 サーバ 2 を呼び出し、サーバ 2 へメッセージ M 1 を送信する。メッセージは、a) の場合には、図 1 の例と同様に、駐車位置の識別に関する情報、ここでは最も近い駐車チケット機 10の番号 7、および、駐車期間に関する情報、ここでは例えば 120 分を含んでいる。サーバ 2 は、メッセージ M 1 を受信すると、利用者の加入番号、例えば携帯電話網 GSM (登録商標) 用のカード SIM の番号、を携帯電話網と接続することのできる内部データ・ベースを用いて駐車車両の識別情報、すなわち登録番号 (47LPX75) あるいは車両に張られたチケットの番号など、を取得する。この駐車車両の識別情報は、メッセージ M 2 の中に含まれており、サーバ 2 によって少なくとも一つの駐車チケット機 10へ送信される。該メッセージ M 2 は、駐車時間に関する情報、すなわちたとえば 120 分、および駐車開始時刻 (10:22) も含んでいる。

【0020】

制御は、以下のようにして行われる。監視係員の要求に応じて、駐車チケット機 10 は、駐車している車両の識別情報、登録または識別番号、および駐車時間に関する情報すなわち駐車の間および開始時刻を示す駐車許可制御リスト 13 を提供する。駐車チケット機の中に存在する情報を更新できるように、サーバ 2 によって定期的にあるいは監視係員が駐車チケット機 10にリスト 13 を要求したときに該情報を更新するようにすることもできる。利用者への請求は、図 1 に示した実施形態と同様に行われる。

【0021】

図 2 は、b) に、利用者が最初の電話のメッセージ M 1 を送って、サーバ 2 に駐車位置の識別に関する情報および駐車開始時間 (10:22) を提供する他の実施例を示す。

【0022】

すると、サーバ 2 は、最初のメッセージ M 2 として、携帯電話 20 の識別によって得られた駐車開始時刻ならびに車両識別情報、ここでは登録番号、を少なくとも一つの駐車チケット機 10へ送信する。制御のために、駐車チケット機 10から監視係員へ提供されるリスト 13 には、登録番号 47LPX75 を有する車両が 10:22 から駐車 of 許可を与えられていることが示される。

【0023】

利用者は、駐車を終えるとき、第二の電話のメッセージ M 1 を送って、サーバ 2 に駐車位置の識別に関する情報および駐車終了時刻 (11:52) を提供する。すると、サーバ 2 は、第二のメッセージ M 2 として、駐車終了時刻ならびに車両識別情報を少なくとも一つの駐車チケット機 10へ送信する。制御のために、駐車チケット機 10から監視係員へ提供されるリスト 13 からは、駐車終了時刻から、登録番号 47LPX75 が消されており、それに対応する車両への駐車 of 許可はもはや存在しないことが示される。

【0024】

利用者が支払う料金は、駐車位置に関する情報によってきまる現行の料率および駐車終了時刻と駐車開始時刻の差から求められる駐車期間にもとづいて計算される。

【0025】

図 1 および図 2 a) の場合には、あたえられた見積もり期間の駐車に対して料金がプリペイド方式で支払われるのに対して、この実施形態では、利用者が実際の駐車期間に対する料金を支払うものである。また、電話をかけるのが一回ですむ前者の例と異なり、利用者は、二回電話をかけなければならない。

【0026】

図 3 の a) および b) に示す実施形態は、図 2 の対応する実施形態と異なり、利用者自身が、駐車車両の識別情報、ここでは登録番号、を自分の携帯電話 20 で入力し、それがサーバ 2 から駐車チケット機 10へ送られる構成となっている。

【0027】

この実施形態では、すでに示した二つのオプション、すなわち、見積もりの駐車期間に対してプリペイド方式で支払いをするものと実際の駐車期間に対して支払いをするもののいずれもが可能である。

【 0 0 2 8 】

図 4 の a) および b) に示す実施形態では、利用者からサーバ 2 へ送られるメッセージ M 2 は、車両の駐車地点番号 1 4 (1 0 3) を示すものとなっている。この車両駐車地点番号は、駐車車両の識別情報としてもまた料率適用に用いられる駐車位置の識別に関する情報としても役立つ。番号 1 4 (1 0 3) は、駐車時間に関する情報、すなわち期間 (1 2 0) または駐車を開始時刻 (1 0 : 2 2) あるいは終了時刻 (1 1 : 5 2) とともに駐車チケット機 1 0へ送信される。監視係員は、駐車チケット機 1 0によって提供されるリスト 1 3 を参照して、前記地点 (1 0 3) に駐車している車両がそこに駐車することを許可されているか否かを明らかにすることができる。

【 0 0 2 9 】

この場合にも、プリペイド方式か実期間方式のいずれの支払いのオプションも可能であり、また、車両を駐車地点番号で識別するため、複数の車両の駐車料金の支払いを同時に行うことも可能である。

【 0 0 3 0 】

以上、第 2、3、および 4 図を参照して、駐車許可の制御手段としてリスト 1 3 を使用する本発明の駐車方法を説明したが、すでに述べたように赤外線または短距離用無線で駐車チケット機 1 0の情報を受け取ることのできるポータブルな装置など他の手段を利用することも可能なことは、明らかであろう。

【 0 0 3 1 】

また、駐車サーバ 2 が、少なくとも利用者に関する情報、たとえばその加入番号またはカード S I M の番号、駐車位置の識別に関する情報、および駐車時間に関する情報などから計算した電子証明書を携帯電話 2 0 へ送る構成も本発明に含まれるものである。この証明書は、電話のメモリまたはカード S I M のメモリに記憶される。また、メモリが可能な場合には、多数の証明書 (例 : 1 0 枚) をファイルとして中に記憶させておくこともできる。

【 0 0 3 2 】

この証明書は、追徴金その他の問題が生じたときに、利用者が自分の支払った金額を証明する証拠書類として役立つ。そのような場合には、自分の携帯電話で駐車システムのオペレーション・センターにアクセスして、メモリが記憶している証明書によって自分の支払った金額を証明することができる。該証明書は、また、利用者が許可されている駐車終了時刻を思い出すためにも役立つ。

【 図面の簡単な説明 】

【 図 1 】

本発明の一実施形態の概略図。

【 図 2 】

本発明の第二の実施形態の概略図。

【 図 3 】

本発明の第三の実施形態の概略図。

【 図 4 】

図 3 の実施形態の変形例の概略図。